

電子ジャーナルリストの提供再開

なかがわ かすみ
中川 和美
(信濃町メディアセンター)

えんどう いずみ
遠藤 泉
(信濃町メディアセンター)

1 電子ジャーナルリスト再開検討の経緯

COVID-19感染拡大で緊急事態宣言が発令され、在宅勤務が始まったばかりの2020年4月12日、信濃町メディアセンターに1通のメールが届いた。「メディアセンターWebサイトのリニューアル後、電子ジャーナルリストが見つからない。どこにあるか教えてほしい」とのことだった。

この“電子ジャーナルリスト”とは2020年3月まで信濃町メディアセンターWebサイトにて公開していた生命科学分野の電子ジャーナルリスト（以下「旧EJリスト」とする）のことである。2019年の図書館システムリニューアルに伴い、リストに必要なデータを更新することができなくなり、2020年4月のWebサイトリニューアルを機に公開を終了した。その矢先の、利用者からのメールであった。

ひとまず利用者へは、旧EJリストの代替として、本学の蔵書検索システムKOSMOSの「雑誌検索」の補助的機能である分野別雑誌一覧から、「R_健康および生物科学」等の一覧を利用させていただくよう回答した。しかしながら、分野別雑誌一覧は1頁あたり10件ずつしか表示されず¹⁾、続きを何度も読み込む必要があるなど効率が悪いとの指摘もあり、他の利用者からも電子ジャーナルリスト（以下「EJリスト」とする）の提供再開を望む声があがった。

このような経緯から通覧性に優れたEJリストの必要性を感じ、ExcelからHTML形式のリストを出力する仕組みを作成した経験がある筆者（中川）が、KOSMOSからダウンロードした少量のサンプルデータを用いてEJリストのサンプルを作成した。その後、通常業務の再開に伴いしばらく進展がなかったが、2020年9月に「EJリスト検討チーム」を発足し、検討を開始した。

2 EJリスト作成条件の検討

(1) 元データの管理・調達

EJリストに必要なデータを現在の図書館システムから抽出できないか、メディアセンター本部（以下「本部」とする）リソースマネジメント担当と検討した結果、完全とは言えないがEJリストに必要なデータを抽出できることが分かり、158,406件のデータが抽出された（複数のコレクション²⁾に含まれる重複タイトルを除外したタイトル数は120,497件）。

(2) リンク先と掲載項目等の検討

旧EJリストはタイトルをクリックすると直接電子ジャーナルサイトにジャンプする仕組みとなっており、掲載項目は次の通りであった。

- ・アクセス範囲（全学／信濃町／リモート可など）
- ・タイトル（電子ジャーナルに直接リンク）
- ・カバー年（閲覧可能な年代）
- ・サイト名

今回は入手できる項目に限られるため、EJリストはタイトルのみを掲載してリンク先をKOSMOSの当該書誌とし、アクセス範囲・カバー年・サイト名はKOSMOSの情報で代用することとした。また、指摘のあったKOSMOSの分野別雑誌一覧の弱点¹⁾を補うべく1頁あたり300件に設定した。

(3) 分野の選定方法の検討

掲載範囲は旧EJリスト同様、生命科学とその周辺分野とした。本部から入手したデータは全分野にわたるため、どのように生命科学および周辺分野のタイトルを選別するかが大きな課題であった。検討を重ね、次のような複数の方法で選別することとした。

a 分類で選ぶ

米国議会図書館分類（以下「LC分類」とする）またはデューイ十進分類法（以下「DC分類」とする）が付与されているタイトルは、関連分野の分類であればEJリストに掲載することとした。実際のデータを精査した上で次の分類を対象分野と決めた。

表1 LC分類・DC分類

【LC分類】	
BF	Psychology
QH	Natural History - Biology
QM	Human anatomy
QP	Physiology
QR	Microbiology
R	Medicine (General) (RA~RZを含む)
【DC分類】	
15	Psychology
57	Life Sciences
61	Medical sciences, Medicine

この条件で選定されたタイトルは11,586件である（重複タイトルを除く）。

しかし分類が付与されているデータは全体の半数にも満たなかったため、それ以外のタイトルについて、別の選定方法を検討する必要がある。

b コレクションで選ぶ

本部から入手したファイルの中に「信濃町関連コレクション名一覧」というものがあり、当初この一覧にあるコレクションを全て掲載対象にしようと考えた。しかし内容を確認すると対象分野以外のタイトルも思いのほか含まれていた。そこで、全てのコレクションについて、コレクションごとにタイトルを精査し、全タイトルを掲載対象としてよさそうなコレクションを「必須コレクション」として選定した。この条件で選定されたタイトルは2,767件である。

c 選定ワードで選ぶ

a, bで選定されなかったタイトルにも、対象分野のものがたくさん残っていたため、タイトル中に含まれる単語で拾う方法も検討した。タイトルから関連分野と思われる単語を選定していき、それらを1つでも含むタイトルは掲載対象とした。日本語・英語以外にも含む膨大な量の単語を調べていく作業は気の遠くなる作業で、一番多くの時間を費やしたが、

幸い週2回の在宅勤務の静かな環境で、何日もかけて集中して作業を進めることができた。中には、医学分野でよく使われる単語（例：診断）でも、別の分野のタイトルに使われているケース（例：経営診断）などもあり、選定ワードのほかに除外ワードもリストアップした。また、選定ワードリストには、語尾変化にも対応できるような形でリストアップした。この条件で選定されたタイトルは5,991件である。

d タイトル単位で追加する

ここまでで掲載対象とならなかったタイトルにも、まだ対象分野のものが残っていた。対象外の分類が付与されているタイトルはb, cの選定対象としなかったが、たとえばLC分類のHV (Social Pathology, Social and Public Welfare, Criminology) が付与されているタイトルの中にはアルコール依存症や薬物中毒関係のものもある。また、分類が付与されていないものの中には、タイトル中に生命科学分野の単語が含まれておらず選定ワードでも拾えないもの（例：「ファルマシア」「ヤクルト研究所研究報告集」等）や、データの不備で日本語タイトルがローマ字表記しかないものなどもあった。これらを拾うため、タイトル単位であらかじめ掲載対象としてリストアップしておくものも選定した（175件）。

(4) リスト掲載先とレイアウトの検討

EJリストの掲載先は、アクセスのしやすさやHTMLファイルのアップロード方法を考慮して、信濃町メディアセンターWebサイト内とした。左側メニューの第1階層に「電子ジャーナルリスト」と表示し、リストへの入口となるページ（タイトルの頭文字別リストへのリンクを掲載）を用意することとした。1頁になるべく多くのタイトルを掲載するために、ページ上部のロゴや写真、左側のメニューなどは外し、リストのみを掲載するレイアウトとしたが、罫線やリスト冒頭の記号、ページトップへのリンクボタンなどのデザインはWebサイトと揃えることとした。

3 EJリスト作成の仕組み開発

Excel形式の本部抽出データからHTML形式のEJリストを作成する処理の流れも並行して検討し、

Excel VBAのコーディングを進めていった。以下はExcel VBAの処理内容である。

(1) データ選定

本部抽出データを前述の a～d の選定条件で選定し、タイトルごとの選定理由がわかるように結果を「LC」「DC」「必須C」「選定W」「追加T」と記録する。

(2) 選定データの加工

次に、(1) で選定されたデータをEJリストに掲載するためのデータに加工する。

a 対象外タイトル削除・重複削除

選定結果が空欄のもの、同一タイトルで複数コレクションにわたる重複データを削除する。

b ソート用タイトル作成

EJリストは和洋混配でタイトルのアルファベット順（日本語タイトルはヨミのローマ字表記、中国語は英語タイトルまたはピンイン表記を採用）とするため、タイトル欄に含まれるヨミ（カタカナ・ひらがなからローマ字に変換）やピンインを取り出したり、欧文タイトルの冒頭冠詞を除去するなどしてソート用タイトルを作成する。

(3) HTMLファイルの出力

最後は(2)で加工したデータをソート用タイトルでアルファベット順に並び替え、HTML形式のファイルに書き出す処理となる。

UTF-8でHTMLファイルを書き出すVBAは書いたことがなかったため、サンプルコードをインターネットで探すなど苦心した。

4 HTMLファイルのアップロードと公開

こうして作成されたEJリストのHTMLファイルは81ファイルとなったため、1点ずつのアップロードではなく、本部システム担当に一括ロードを依頼した。公開日は2020年11月1日と定め、Webサイトのニュース、きたさとメール、Twitterを通して広報を行った³⁾。

5 反響と課題

EJリスト公開後、さっそく数名の先生方から感

謝のメールが届き手応えを感じた。コロナ禍により対面で利用者の反応を伺うことはできなかったが、利用者は単に論文そのものを検索して文献を入手しているだけでなく、自身の研究分野の雑誌を通覧し、その最新情報を得ているといった情報探索行動やニーズも改めて把握することができた。

試行錯誤を繰り返しながらの開発で、EJリスト公開の時点では、不要になった処理や作業用リストがそのまま残っていたため、2021年8月の初めての更新作業では、それらの整理や必須コレクション・選定ワード・追加タイトルなどの更新を行った。さらに、初回に比べて大幅に件数が増えたため処理時間を少しでも短縮できないか試行錯誤中である。

また、今後データ形式の変更や図書館システムのリプレースなどでVBAの改訂が必要となる場合や人事異動などの場合に備え、後進の育成も含めた体制強化が大きな課題である。

注

- 1) 2021年8月のKOSMOSアップデートにより、検索結果一覧の1頁あたりの表示件数が10件、25件、50件に変更できるようになった。
- 2) コレクションとは、図書館システム上で管理する電子資料のまとまり（多くの場合出版パッケージ）のことを指す。
- 3) 広報内容は下記を参照されたい。

信濃町メディアセンターWebサイト。“医学・看護学・薬学分野の電子ジャーナルリスト提供開始”。

https://www.lib.keio.ac.jp/news/003245_Jp.html,
(参照 2021-07-29)。